



やるき ほんき こんき 台所から日本を変える

大塚さとこの政策

島根発、8つの政策を国政へ!そして全国へ!!

① 福祉と教育の連携

- 専門職を加えた厚みのある「チーム学校」システムの推進
- 障がい・不登校などの課題に対応する公的な「多様な学びの場」を拡充

② 生活者目線の経済再生

- 非正規雇用労働者の待遇改善
- パート・アルバイト・会社員・フリーランス・就職氷河期・経済を盛り上げる経営者まで必要とされる幅広い支援で、日本経済を復活させる

③ 持続可能な高齢者福祉制度の構築

- 住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり
- 介護保険サービス料の所得に応じた負担軽減
- 訪問介護の報酬改定の改善

④ 地域公共交通の充実

- 不足する地域公共交通の担い手の待遇改善
- 地域の実情に合わせた交通空白地域の解消
- 地域内移動の利便性向上と運行の効率化

⑤ 農林水産業の振興

- 農林水産業の従事者の所得を保障する政策を充実させ、担い手を確保
- 第一次産業で就労を希望する障がい者の就労環境を整備

⑥ 災害から国民を守るために整備

- 複合災害に備えたシェルターの建設
- 幼少期から始める防災教育の推進
- 教育と福祉が連携した包括的な災害対策の構築

⑦ 多様性を認め合う共生社会

- 男女の給与格差の是正
- 障がい者や社会的な孤立・孤独を支援する仕組みづくり
- 立候補年齢の引き下げ・男女半々の議会=パリテを実現して多様な声を国政へ

⑧ まっとうな政治を取り戻す

- 一部の声で選挙も政策もゆがめないために、企業団体献金の禁止
- 参議院議員選挙合区の解消

2024年4月から横浜市を離れ、島根県出雲市に移住しました。移住のきっかけは、長男が島根大学に入学したことと、知的障害を持つ長女の就労支援について「島根県立東部技術校」が目に留まつたこと、そして、父の故郷が隠岐の島であったことです。長女の支援に必要な知識と資格を得るために「社会福祉士」及び「精神保健福祉士」を取得するとともに、大学院で修士論文の執筆をする中で、教育と福祉を連携する政策の重要性に気づきました。国政の立場から、全国的に進んでいる島根県における制度を基礎として、島根発の「教育と福祉の連携」政策を全国に展開していくたいと考えています。



プロフィール

1967年生まれ 満58歳
島根県出雲市在住(父は隠岐の島出身)
夫・子ども2人の4人家族
社会福祉士・精神保健福祉士

学歴・職歴

神奈川県立保健福祉大学大学院 修了
前立憲民主党島根県連副代表



大塚さとこ
ホームページ

比例代表は中道改革連合へ

大塚さとこ

中道改革連合 公認